

令和3年10月12日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

新型コロナウイルスワクチン接種時の推奨穿刺方法に関する資料について

神奈川県医師会より通知が参りましたのでお知らせします。

【こちらの件の問い合わせ先】鎌倉市医師会コロナウイルスワクチン予防接種担当 広崎 繁雄

TEL : 0467-22-1245 Mobile : 090-8476-1245 Mail to : kcma.yoboseshu@kcma.jp

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室

新型コロナウイルスワクチン接種時の推奨穿刺方法に関する 資料について (改訂)

本県の健康医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

令和3年9月1日付で発出しました事務連絡「新型コロナウイルスワクチン接種時の推奨穿刺方法に関する資料について」について、テルモ社より厚生労働省健康局健康課予防接種室を通じて別添のとおり新型コロナウイルスワクチン接種時の推奨穿刺方法に関する資料の改訂版が提供されましたので、送付いたします。

○対象製品：テルモ FN シリンジ 1mL 針 埋込式(商品コード：SS-010F2716)

問合せ先

神奈川県医療危機対策本部室

ワクチンチーム

電話 045-285-0716 (直通)

新型コロナウイルスワクチン接種時の推奨穿刺方法

<筋肉注射の手法>

(筋肉注射のポイント)

① 穿刺部位の確認

注射部位は三角筋中央部です。肩峰から真下に3横指程度下の位置が目安になります。接種部位が上方すぎるとワクチン関連肩関節障害を、下方すぎると橈骨神経障害を起すリスクがあるので、注意が必要です。

* 接種部位の目安として肩峰下の前後腋窩線と結ぶ線の高さを推奨する報告もあります。

② 穿刺部位の消毒

穿刺部位を中心から外側に向けて円を描くように直径5cm以上の範囲を消毒綿で拭いてください。アルコールが乾燥するまで待ちます。

③ 穿刺

利き手でシリンジを持ちます。

注射部位周辺の皮膚を軽く広げるように伸展させてから三角筋の外縁に手を添えます。

注射針を皮膚に約90°の角度で素早く刺してください。

(注射針について)

① 薬液を注入

三角筋には大きな血管がないので、陰圧をかけて血液の逆流を確認する必要はありません。シリンジと注射針が安定するように工夫して持ち、適度な速度で注入してください。

② 抜針

穿刺部位に消毒綿をあて、素早く針を抜いてください。



16mm針付シリンジ(テルモ社製)の場合

シリンジの注射針を針元まで刺入

(イメージ図)



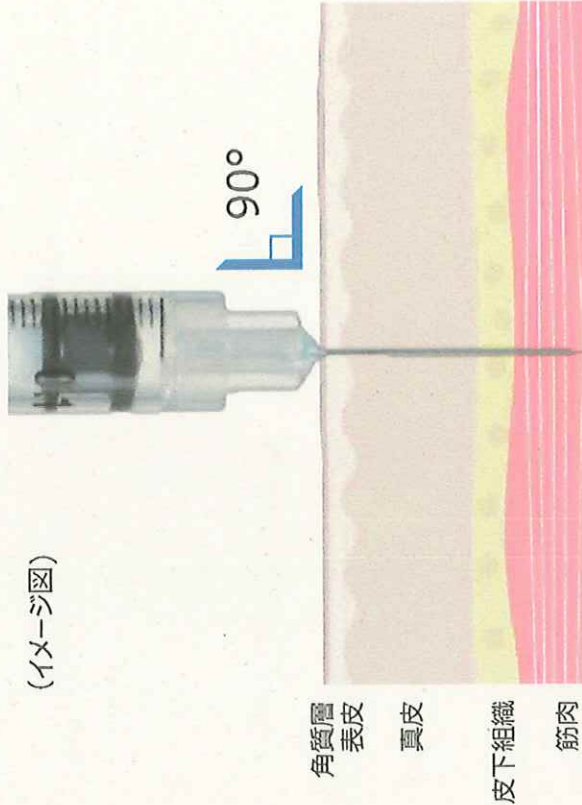
新型コロナウイルスワクチン接種時の推奨穿刺方法

(イメージ図)
※1



16mm針付シリンジ (テルモ社製) の場合

シリンジの注射針を針元まで刺入



・注射部位は三角筋の肩峰より2~3横指下中央の位置

・三角筋をつままず、広げて圧迫固定

・**注射針は必ず皮膚に対して直角に刺入**

・刺入の深さは体型により13mm~20mmが目安

・筋肉組織損傷による免疫獲得減弱を回避するため、

シリンジ陰圧は行わない

・神経損傷を避けるため、刺入時に異常の訴えが無いことを

確認した後にワクチンを三角筋に注入する

・抜針後は揉まずに、軽く圧迫する

※1 公益社団法人日本医師会 日本医師会新型コロナウイルスワクチン選取(第5号)発行日2021年2月26日 より作成